



4節の問い 日本の近代国家建設は、どのような成果と課題を生んだのだろうか。



[千葉県 国立歴史民俗博物館]

↑1 岩倉使節団 政府の有力者の約半数が参加した、大規模な使節団でした。使節団は欧米12か国を訪問しました。 **小地公**

岩倉使節団の目的は何だったのかな。



岩倉使節団員久米邦武の記録

…フランス革命以来、欧米諸国では自由や自主の考え方が広がっている。…国民は開墾や事業をおこすことに盛んに励み、…優れた工芸産物生まれ、豊かさは盛んにわき出る。…国民の自主の権利を強くすれば政府の指導力が弱くなり、自由を増やせば秩序が緩む。一長一短である。 [『米欧回覧実記』より、一部要約・抜粋]

→2 岩倉使節団のルート



1

新たな外交と国境の画定



↑3 岩倉使節団に同行した女子留学生 政府が派遣した最初の女子留学生です。最年少であった津田梅子は、アメリカで11年間、教育を受けました。帰国後、1900年に女子英学塾(後の津田塾大学)をつくり、女子教育に生涯をささげました。[津田塾大学 津田梅子資料室蔵 1872年撮影]

解説 国際法

各国が守るべき国と国との間の関係を定めた法です。文章になっている条約などのほかに、慣習や合意も含まれます(→p.196)。



新政府は近代国家をつくるために、どのような外交政策を進めていったのだろうか。

新政府の外交

欧米諸国と対等の立場となりた新政府は、1871(明治4)年、岩倉具視を代表に、木戸孝允・大久保利通・伊藤博文ら約50名の使節団を約2年間、アメリカ合衆国とヨーロッパ諸国に送りました(岩倉使節団)。

使節団の主な目的は、幕末に江戸幕府が欧米諸国と結んだ不平等条約改正の準備でした。しかし、条約改正については、日本の法律や制度が整っていないことなどを理由に受け入れられませんでした。その一方、使節団に参加した人々は、欧米諸国の政治のしくみや産業、文化を詳しく見て帰り、まず国力を充実させることが必要であると感じました。そのため、帰国後は、近代産業をおこし、貿易を盛んにする政策をより積極的に進めました。

アジアの国々との条約締結

開港以来、貿易港には、西洋人とともに多くの中国人が日本にやって来ました。そのため、中国人と日本人の間で事件が起こった際、裁判をする必要に迫られました。このことから、新政府は1871年、清と対等な条約である日清修好条約を結んで正式に国交を開き、領事裁判権を互いに

日清修好条規 (1871年)

第1条 日本と清は友好関係を強め、互いの領土を侵略せず、永久に安全なものとする。

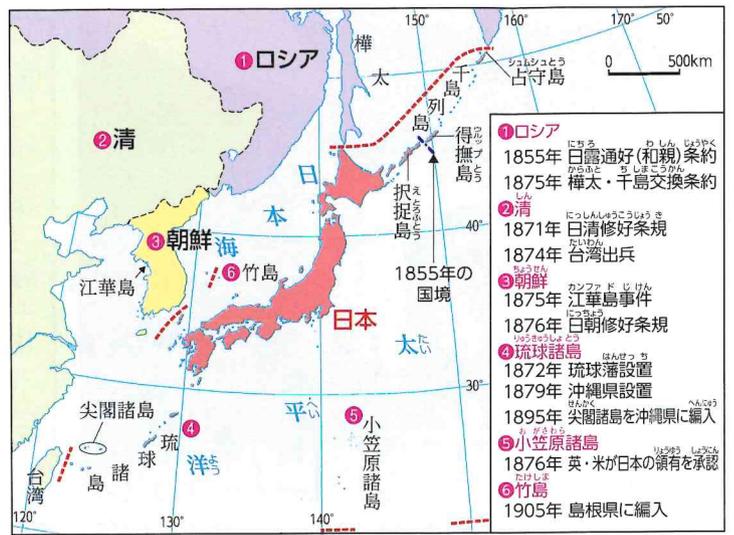
第8条 日本と清の両国にある貿易港には、互いに役人を派遣し、自国の商人の取り締まりを行う。財産や産業などに関係する事件が起こった場合は、裁判を行い、自国の法律で裁くこととする。 [一部要約・抜粋]

日朝修好条規 (1876年)

第1款 朝鮮は自立した国で、日本と平等の権利をもつ。

第8款 朝鮮にある貿易港(金山ほか2港)は、日本の商人や国民を管理する役人を置く。

第10款 日本人が朝鮮の貿易港で罪を犯し、朝鮮人に関わる事件が起こった場合は、日本の領事を裁判を行う。 [一部要約・抜粋]



↑4 明治初期の日本の国境と外交
地図帳活用 4~6の島の位置を確認しよう。

認めました。また、新政府は、アジアの近隣諸国にも開国を求め、「鎖国」を続ける朝鮮に国書を渡そうとしました。しかし朝鮮は、国書が江戸時代からの関係を損なう内容だとして拒否しました。政府内では、武力に訴えてでも朝鮮に開国を迫ろうとする主張(征韓論)が高まりました。そのようななか1873年に、岩倉・大久保らが欧米から帰国し、国内の整備が先だとして征韓論を抑えたため、彼らと対立した西郷隆盛や板垣退助らは政府を去りました。

ところが1875年、日本は軍艦を朝鮮の沿海に派遣し、無断で測量を行うなどの圧力を加えました。朝鮮側が江華島に接近した日本の軍艦を砲撃する事件(江華島事件)が起こると、翌76年、この事件を口実に、日本は朝鮮と日朝修好条規を結び、開港させました。これは、日本が一方的に領事裁判権をもつなど不平等な条約でした。

近代の国家は、国境と領土を定め、そこに住む人々を「国民」としました。このため新政府は、それまであいまいだった国境を定めることに努めました。

北方の国境については、ロシアと開国の際に、択捉島と得撫島の間に国境を確認していましたが、1875年に樺太・千島交換条約を結び、樺太島全域をロシア領とする代わりに、占守島以南・得撫島以北の千島列島を日本領としました。小笠原諸島については、翌76年に国際法に基づいて日本領であると宣言し、国際的に認められました。一方、南西の国境を定める際には、琉球が問題となりました。また、1905年には、竹島も現在の島根県に編入されました。

西郷隆盛	大久保利通
1827~77	1830~78
薩摩藩士の分かれ道 小地公	
二人は、幕末から薩摩藩を代表して活躍しました。大久保は新政府の要職を歴任し、内務省を設置して殖産興業(→p.188)を推進するなど、近代国家建設の中心を担いました。西郷も陸軍の指導者となりますが、征韓論をめぐる帰郷して以降、大久保を始めとした、権力を独占する一部の政治家などに対する不満を高める薩摩士族をまとめる立場に立ち、1877年、彼らの暴発を抑えきれずに西南戦争を起こしました(→p.200)。	

確認しよう

新政府が1870年代に結んだ条約を、本文から書き出そう。

説明しよう

明治初期の欧米諸国、中国、朝鮮との関係を、「領事裁判権」という言葉を用いて説明しよう。

縄文
弥生
古墳
飛鳥
奈良
平安
鎌倉
南北朝
室町
戦国
安土桃山
江戸
明治
大正
昭和
平成
令和



↑1 首里城の前に立つ日本兵 新政府は1879年、琉球最後の国王尚泰を首里城から退去させ、日本軍の駐屯地にしました。[東京都日本カメラ博物館蔵]

沖縄をめぐるさまざまな意見

琉球王国の存続を求めた人々
 琉球の士族には王国の存続を願う人も多く、清に協力を求めた人もいました。宮古・八重山を清に譲り渡すという日本の案に清が同意すると、強く抗議し、自決する人もいました。

「日本」のなかで自治を求めた人々
 旧琉球王族・士族を中心に、王家を代々沖縄県知事として実質的な自治を求める運動も起こりました。しかし明治政府はこれを認めず、実現しませんでした。

「日本人」と同じ権利を求めた人々
 政府に対し、本土と同じ制度(税制・参政権など)を求める謝花昇のような人々や、その実現のために、伝統的な言葉や生活面などを変えて「日本人」になる運動を進める人々もいました。

↑2 尚泰 (1843~1901)

☞ 対話 ☞ それぞれの立場の人々の考え方は、どのように異なっているか、なぜそれぞれの立場の人々はどのように考えたのか、周りの人と話し合ってみよう。

琉球の人々は沖縄県になったことをどのように感じていたのかな。

2 沖縄・北海道と近代化の波

4節の問い 日本の近代国家建設は、どのような成果と課題を生んだのだろうか。



←3 人頭税石 八重山・宮古では、沖縄県になっても人頭税が課され、農民には重い負担になっていました。身長が石の高さ(約130cm)に達すると、税が課せられたと伝えられています。

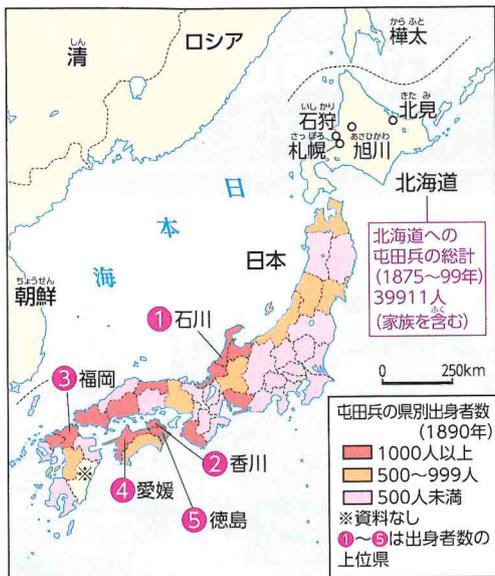
学習課題 新政府は近代国家をつくるために、沖縄や北海道に対してどのような政策を進めたのだろうか。

琉球から沖縄県へ 江戸時代の琉球は、幕府や薩摩藩の支配を受ける一方、清から国王が任命され、欧米諸国からも独立した王国と認められていました。新政府は、琉球を日本領に組み入れようと、1872(明治5)年に琉球藩を設置しました。これに対して、琉球は引き続き清との関係と王国を維持しようとして、1874年、清領の台湾で琉球の漂流民が殺された事件などを理由に、新政府は出兵して清に漂流民を日本の領民と認めさせ、賠償金を獲得しました。さらに1879年、軍隊や警察の力を背景に琉球藩を廃止して**沖縄県**を設置しました。1895年には尖閣諸島も沖縄県に編入しました。新政府はしばらくの間、学校教育を除いて、琉球王国時代の制度を維持し、米や砂糖などを年貢として納めさせました。農民は、王国時代と変わらない税制に苦しみ、税制の改正や参政権を求める運動も起こしました。また、琉球の所属問題や朝鮮をめぐる問題などで、日本と清は対立するようになりました。

生活を変えられた琉球の人々 新政府は、1896年に徴兵制、1903年に地租改正を実施するなど、しだいに本土と同様の制度に変えていきました。また、人々を「日本国民」にするために日本語の教育を行い、生活様式や習慣も日本人風にする政策を進めました。やがて沖縄のなかでも、琉球の伝統的な文化や風習を改め、

歴史プラス 離島の領土画定と国際法

国際法では「どの国の領土でもない領域は、最初に自国の領土だと主張した国の領土となる」とされています。開国後の江戸幕府や明治政府は、自国の領土とする考えを各国に直接通告する、県への編入などの閣議決定により公式に示す、など国際法に従った方法で離島の領土画定を行いました(→p.287)。その際、尖閣諸島では事前の現地調査もたびたび行い、清などの支配が及んでいないことを慎重に確認しました。



↑4 屯田兵の出身地

あまかわけいざぶろう
天川恵三郎
1864~1934

げんろん
言論で戦ったアイヌ

天川恵三郎は、アイヌの民族活動家です。1899年、札幌にあった陸軍第七師団の旭川への移転決定に伴い、旭川の近文にあったアイヌの土地を取り上げ、天塩に強制移住させる計画が明らかになりました。日本語のできる石狩在住の天川は近文のアイヌによばれて裁判所に訴え、上京して大隈重信(→p.201)などと会い、協力を求めました。北海道庁長官は移転を中止し、問題はいったん解決しましたが、その後もアイヌの土地所有問題は繰り返され、天川も関わり続けました。



地名のもとになったアイヌ語
えりも:エンルム(岬)
稚内:ヤムワッカナイ(冷たい水の川)
利尻:リシリ(高い島)
知床:シリエトク(大地の突出部(=岬))
札幌:サッポロペツ(乾いた大きい川)
小樽:オタオロナイ(砂浜の中の川)

移住者によってつけられた地名
伊達(宮城県出身者)
北広島(広島県出身者)
京極(旧丸亀藩(香川県)の藩主)である京極氏に由来
新十津川(奈良県出身者)

↑5 北海道の地名の由来
地図帳活用 上記の都市を探してみよう。また、他のアイヌ語由来の地名を探してみよう。

積極的に同化することで差別を解消しようという動きが起きました。また、経済の面では製糖業を育成しました。

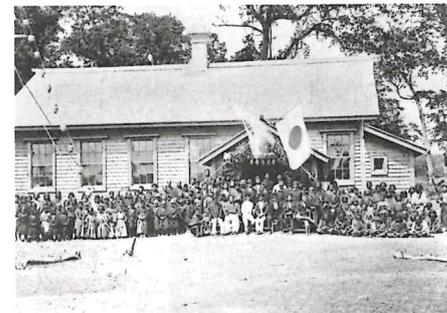
北海道の開拓 新政府は、アイヌ民族が住む北方の地を1869年に北海道と改称しました。そして、ロシアに対する北方の

防備を兼ねて、本格的な統治と開拓を進めました。開拓使を設け、農地の開墾、鉄道・道路の建設、都市づくりなどを行いました。また、生活に困っていた土族などを、北海道の開拓と防備にあたる屯田兵として移住させました。1890年代には、本土の資産家による土地所有や、平民の集団移住が増えました。一方、労働力不足を補うために政治犯を含む多くの囚人も動員され、開拓が進められました。

生活を変えられたアイヌ民族 開拓が進むにつれ、アイヌ民族は狩りや漁の場を奪われました。新政府は、アイヌ古来の

風習をやめさせ、日本人風の名前を名乗らせ、日本語の教育を行うなど、「日本国民」にするための政策を行いました。また、アイヌ民族を保護するという名目で、北海道旧土人保護法を制定しました。政府は農業を推進し、未開地の開墾を強く勧めましたが、そうした土地は開墾が難しい所も多く、農業に慣れていないために土地を失う者もいました。開拓による都市化が進むと、アイヌ民族は条例によって土地を取り上げられ、強制移住も行われました。こうして、アイヌ民族が先祖代々伝わる生活や民族独自の文化を保つことは、しだいに難しくなりました。

① これに対して、沖縄固有の文化(→p.132)を見直そうという動きも起きました(→p.245)。伊波普猷は沖縄文化を日本文化の一つとして尊重することを主張し、柳宗悦(→p.235)は沖縄独自の言葉を排除する人々を批判しました。



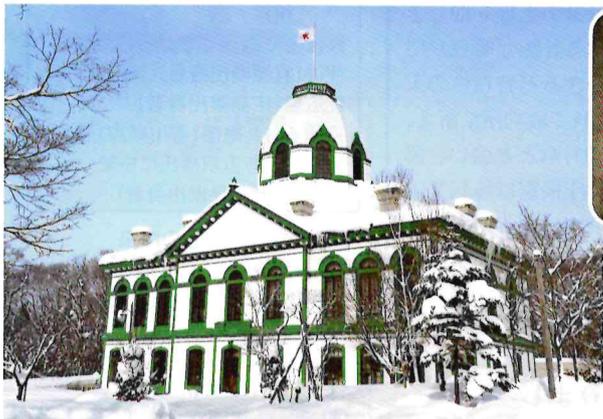
↑6 アイヌ学校(北海道 江別市 対雁) 樺太・千島交換条約(→p.195)によって、樺太から移住させられたアイヌの子どもたちが通いました。写真は、江別市で最も古いアイヌ学校です。[北海道大学附属図書館蔵]

確認しよう 新政府が琉球と北海道で行った政策を、本文からそれぞれ書き出そう。

説明しよう 新政府が行った政策によって、琉球とアイヌ民族の生活がどのように変わったか、説明しよう。

縄文
弥生
古墳
飛鳥
奈良
平安
鎌倉
南北朝
室町
戦国
安土桃山
江戸
明治
大正
昭和
平成
令和

1 開拓の始まりと札幌の建設



↑1 開拓使札幌本庁舎(外観再現) [北海道開拓の村]



↑2 開拓使長官の黒田清隆
[北海道大学
附属図書館蔵]



↑4 現在の札幌市西区にあった琴似屯田兵村
[北海道大学附属図書館蔵]

[北海道 北見市 信善光寺蔵 北見市教育委員会提供]

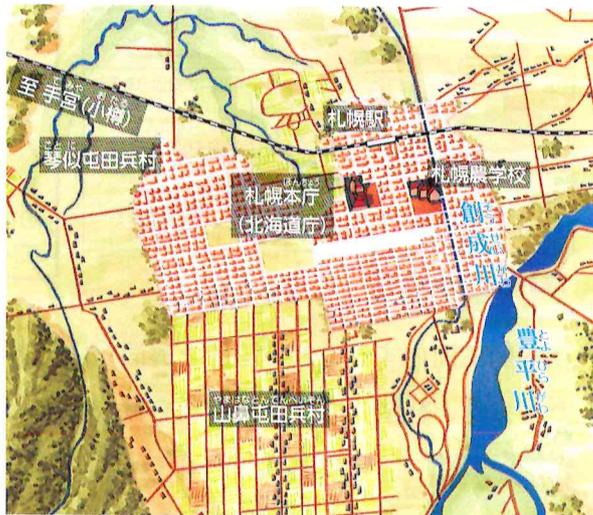


←5 屯田兵の
人形 北海道の開
拓と防衛にあ
たった屯田兵の
功労をたたえて、
寺に奉納されま
した。



↑6 クラーク(1826~86)
札幌農学校(現在の北海道大
学)の初代教頭となり、優れ
た人材を数多く育てました。

↓3 1887年ごろの札幌



[佐賀県立佐賀城本丸歴史館提供]

島 義勇

1822~1874

札幌の都市建設を計画

島義勇は「佐賀の七賢人」とた
えられる一人です。1869(明治2)
年に北海道開拓使が設置されると、島は幕末に榎太や蝦
夷地を調査した経験^{けいけん}を評価され、開拓判官となり、札幌
を開拓使の本拠地として都市開発を進めました。しかし
計画の途中で解任され、その後、江藤新平(→p.191)ら
と共に佐賀の乱を起こしました。現在の札幌の発展の基
礎となる都市計画を立てたことが認められ、札幌市と故
郷の佐賀県に銅像が建てられています。



1 札幌はどのように発展したのかな?

1869(明治2)年、新政府は北海道の行政と開拓を担当
する官庁として開拓使を設置し、本格的な開発に着手しま
した。新政府は、これまでの技術では開拓は難しいと考え、
積極的に欧米の技術を導入しました。

開拓使次官(後に長官)となった薩摩出身の黒田清隆は、
北海道と気候・風土が似ているアメリカ東部をモデルに開
発を進めようと考え、みずからアメリカへ渡って、農業に
詳しいクラークらを招きました。

札幌は、開拓使が設置されるなど、北海道の開拓の中心
を担いました。69年、ススキの生える土地で基盤目状の
都市づくりが始まりました。75年には、東北などの士族
が入植し、厳しい規則の下で生活を送る一方、西南戦争に
も参加しました。現在の札幌市には、白石区など、士族の
出身地にちなんだ地名がみられます。また、日本海側の港
と近いことから、北海道全域と港をつなぐ道路網の拠点と
しても整備されていきました。



疑問

北海道の開拓は、新政府による国家の一大プロジェクトだったそうだけれど、どのようにして進められたのかな。また、開拓によって北海道の人々の生活や環境、産業はどのように変わっていったのかな。

主な関連事項と関連ページ

開拓使・屯田兵 p.197 佐賀の乱 p.191
西南戦争 p.200
官営工場と鉄道 p.214, 217

2 進む開拓と産業の発展

→7 札幌の麦酒醸造所 樽には「麦とホップを製造すればビールとゆぶ酒になる」と書かれています。原料の大麦やホップの調達、低温での醸造や熟成に使う氷など、ビールづくりに必要な条件がそろっていました。[北海道大学蔵]



↓8 北海道の開拓



↑9 晩成社の製品にちなんだ地元の菓子 静岡県の晩成社は、十勝地方に移住し、バターなどを製造しました。

[1958年撮影]



↑10 網走刑務所 1890年に開設され、現在も使用されています。



歴史 プラス+ 札幌の近代化

明治以降も札幌は急速に発展し、1887年に約1万3000だった人口が、現在は190万を超える大都市になりました。1879年に焼失した開拓使札幌本庁舎の跡地の一部に、現在の北海道庁舎があります。



開拓使札幌本庁舎

↑11 1873年の札幌[北海道大学附属図書館蔵]



時計台

↑12 1889年の札幌[北海道大学附属図書館蔵]



↑13 現在の札幌市の中心部

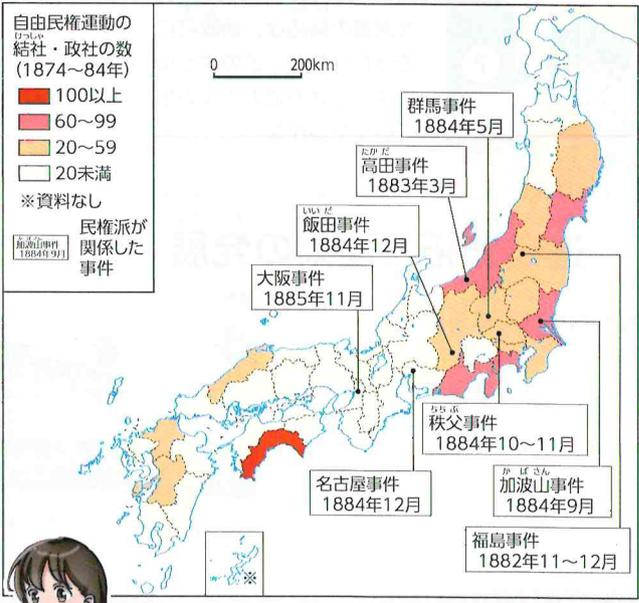
2 開拓によってどのような産業が発展したのかな？

開拓は、全国からさまざまな理由で移住した人々によって行われました。屯田兵は、家族とともに農業開拓をしながら、北海道の防衛という任務も担いました。現在の北海道伊達市など、旧幕府側だった藩の人々が集団移住して発展した地域もあります。さらに、会社を組織して移住する人々などもおり、道路や鉄道の発達に伴って内陸部での開拓も進んでいきました。道路建設などでは、囚人を厳しく働かせて完成したものもあります。

開拓使は1873年から、しょうゆ・みそ・れんがなどの開拓民の日用品や、製粉・生糸・缶詰・材木などの輸出品などのために、多くの官営工場を北海道の各地につくりました。官営工場の麦酒醸造所は1876年に創業し、ラベルには開拓使のマーク(北極星)が描かれました。また、1882年には炭鉱のある幌内まで鉄道が延長されました。1880年代には、それらの工場の多くが民間に払い下げられ、民間産業の育成に大きな役割を果たしました。



↑1 自由民権運動の演説会 1880年に集会条例が制定され、演説会は事前に警察署の許可が必要になりました。【小地公】



↑2 自由民権運動の広がり
何と言っているのかな。

3 自由と民権を求めて

4節の問い 日本の近代国家建設は、どのような成果と課題を生んだのだろうか。

学習課題 政府に不満をもつ人々はどのような活動を行い、それに対して政府はどのように対応したのだろうか。

自由民権運動の始まりと士族最後の反乱

政府を去った板垣退助らは、大久保利通らによって専制政治が行われていることを批判しました。1874(明治7)年、板垣らは民撰議院設立建白書を政府に提出し、政権が天皇にも国民にもないことを批判し、人々の議論を政治に反映させるため、国民が選んだ議員がつくる国会の早期開設を要求しました。自由民権運動の始まりです。板垣らは、立志社や愛国社といった政治結社を組織して運動を進めました。

一方、西日本では、政府に不満をもつ士族の反乱が相次ぎました。政府を去っていた西郷隆盛を中心に、1877年、士族ら約4万人が西南戦争を起こしました。しかし、徴兵令によって組織された近代的軍隊が士族の軍を破りました。以後、武力による反乱はなくなり、反政府運動の手段は言論で行われるようになりました。

自由民権運動の発展

自由民権運動は、初めは士族が中心でしたが、西南戦争後は、地租の引き下げを求める豪農や商工業者も参加し、全国的な運動になっていきました。各地で多くの演説会が開かれ、新聞や雑誌でも国会開設の要求が行われました。1880年には、各地の自由民権運動の代表が大阪に集まって国会期成同盟を結成し、約8万7000人の署名とともに国会開設の請願書

解説① 自由民権
人間はみな自由で平等であるという、欧米の市民革命(→p.162)の流れをくむ考えです。この考えに賛同した人の多くは、国会を開設して政治に参加する権利を得ることを目指しました。

解説② 豪農
土地をもち、地域の農民を小作人(→p.147)にしたり、働き手として雇ったりする有力な農民のことです。地域で強い発言力を持ち、農民たちの意見の取りまとめもしていました。

地域史 多摩地方の自由民権運動

現在の東京都の多摩地方は、もとは神奈川県に属し、多摩地方が属する武蔵国と神奈川地方の相模国を合わせて「武相」ともよばれていました。武相には、「絹の道」(→p.216)が通っていたため、養蚕農家と貿易商の間に立って利益を得た多くの豪農や商工業者がいました。そのため、武相の自由民権運動は活発で、町田・八王子・厚木などに運動の拠点があり、自由党に入る者もいました。特に山間にある西多摩郡の五日市では、小学校教師の千葉卓三郎らによる学習や討論のなかから独自の憲法草案である五日市憲法がつけられました。その後、多摩地方は水源の管理を理由に1893(明治26)年に東京に編入されました。



「自由の棲む所、是れ吾が郷」

↑3「自由」の文字が書かれた書
[東京都 町田市立自由民権資料館保管 村野家文書]

五日市憲法

- 47 すべての日本国民は、**族籍位階(身分や位)の別を問わず、法律の前においては平等である。**
- 51 すべての日本国民は、**法律を守っている限り、事前に検閲を受けることなく、自由に自分の思想や意見を述べたり、出版したり、討論したり、演説したりすることができる。**

[一部要約・抜粋]



↑4「自由」の文字のついた芝居用の人形 当時、さまざまなものに「自由」の文字をつけることが流行しました。[東京都八王子車人形西川古柳座蔵 町田市立自由民権資料館提供]

を政府に提出しました。民間でさまざまな憲法草案をつくる動きも起こり、植木枝盛や中江兆民らはフランスの人権思想を紹介して自由民権運動に大きな影響を与えました。

こうしたなか、翌81年、政府は北海道開拓のためにつくった官営工場や鉱山を、政府と関係の深い大商人に安く払い下げようとしてきました。この動きが明らかになると、自由民権運動を進めていた人々は専制を行う政府を批判し、国会開設の必要性を強く主張しました。政府はついに、国会開設の勅諭を出し、9年後に国会を開設することと、憲法を天皇の下でつくることを約束しました。

政党結成と農民運動

国会開設に向け、自由民権運動に参加した人々は、政治に対する考えの近い人どうしで集まって政党をつくりました。

1881年、板垣退助がフランスの人権思想に基づいて自由党を、翌82年には、大隈重信がイギリスのような議会政治を目指して立憲改進黨をつくりました。このような動きに対して政府は、政治集会や新聞による言論活動を厳しく取り締まるほか、政府高官を殺害する企てなどを理由に、福島県などの自由党員を逮捕しました。

一方、生活に苦しむ農民たちのなかには、借金返済の猶予を求めて高利貸しや警察署を襲う者もいました。秩父地方(埼玉県)では、自由党の影響の下で、生活に困った農民たちが武器を持って立ち上がり、大規模な騒動が起きました(秩父事件)。こうしたなかで、自由民権運動はしだいに衰えていきました。

未来に向けて 自由は土佐の山間より 人権・多文化

「自由は土佐の山間より発した」といわれるように、自由民権運動の中心となったのが倒幕の中心藩の一つである土佐(高知県)でした。土佐では板垣退助を中心に土族が立志社を結成し、西洋の政治・思想などを学びました。土佐からは、植木枝盛や中江兆民らの思想家が育ち、全国にも大きな影響を与えました。板垣は立志社を土台に、運動の全国的なリーダーとなりました。



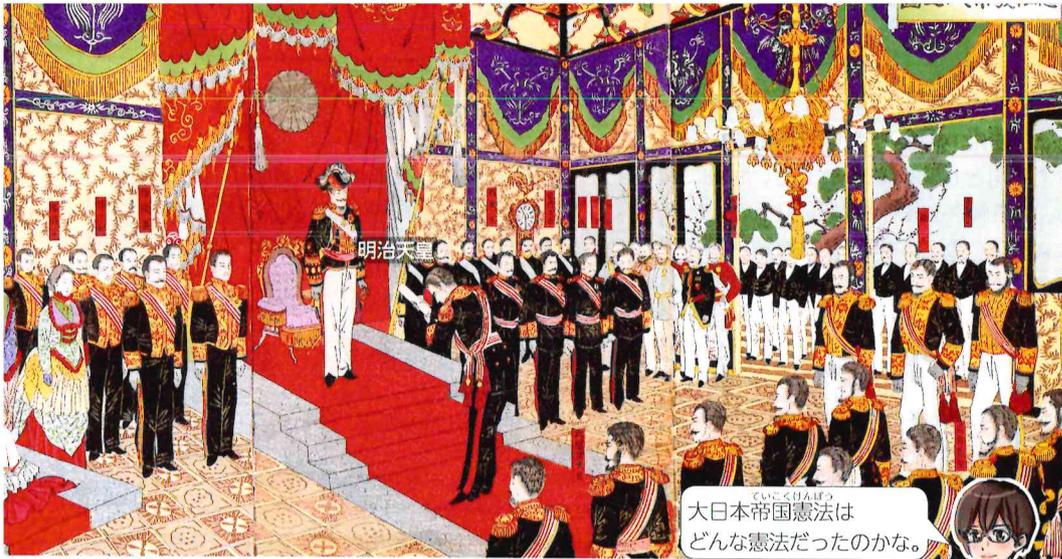
↑5板垣退助 (1837~1919) ↑6植木枝盛 (1857~92) ↑7中江兆民 (1847~1901)

小地公

自由民権運動で要求されたことを、本文から書き出そう。

自由民権運動がどのように展開したか、またそれに対して政府はどのように対応したのか、説明しよう。

縄文
弥生
古墳
飛鳥
奈良
平安
鎌倉
南北朝
室町
戦国
安土
江戸
明治
大正
昭和
平成
令和



↑1 憲法発布の様子 1889年2月11日、明治天皇から第2代内閣総理大臣の黒田清隆(→p.198)に手渡す形で、大日本帝国憲法が発布されました。 **小地公**

ていこくけんぽう
大日本帝国憲法(1889年)

第1条 大日本帝国ハ万世一系ノ天皇ヲ統治ス

第3条 天皇ハ神聖ニシテ侵スヘカラス

第4条 天皇ハ國ノ元首ニシテ統治權ヲ總覽シ此ノ憲法ノ條規ニ依リ之ヲ行フ

第11条 天皇ハ陸海軍ヲ統帥ス

第13条 天皇ハ戰ヲ宣シ和ヲ講シ及諸般ノ條約ヲ締結ス

第29条 日本臣民ハ法律ノ範圍内ニ於テ言論著作印行集会及結社ノ自由ヲ有ス

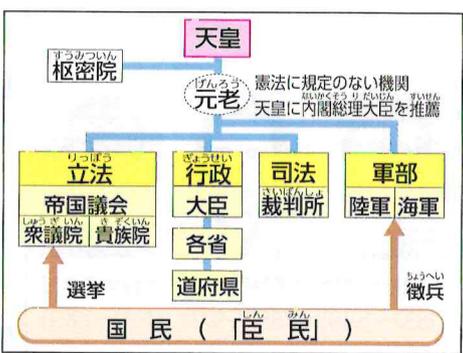
Ⓐ統率すること Ⓑ出版すること

[抜粋]

4 帝国憲法の成果と課題

4節の問い 日本の近代国家建設は、どのような成果と課題を生んだのだろうか。

解説 **枢密院**
枢密院は、大日本帝国憲法で、天皇からの相談に応じる組織とされ、勅令や条約、憲法解釈など重要事項を審議しました。



↑2 大日本帝国憲法の下での国のしくみ 憲法上の主権や権限は天皇にありましたが、首相の任命は元老の推薦によりました。立法・行政・司法・軍部の運用も、各機関に委ねられました。

① 北海道と沖縄はこの対象に入っておらず、20世紀に入るまで、衆議院選挙の選挙権が与えられませんでした。

学習課題 大日本帝国憲法の成立によって、政治や社会はどのように変化したのだろうか。

大日本帝国憲法の発布 国会開設を約束した政府は、憲法の作成に乗り出しました。伊藤博文はヨーロッパへ留学して、君主の権力が強いドイツ(プロイセン)の憲法を中心に調査し、帰国後、憲法草案の作成を始めました。1885(明治18)年、伊藤らは、有能な人材を大臣の座につけ、政府の意思決定機関を強化するため、**太政官制を廃止して内閣制度をつくり**、伊藤が初代の内閣総理大臣(首相)になりました。そして、伊藤らが作成した憲法案は枢密院での審議を経て、1889年、天皇が国民に与えるという形で**大日本帝国憲法**として発布されました。

大日本帝国憲法では、主権は天皇にあると定められ、軍隊を率いる権限や、条約の締結などの外交権、戦争の開始・終結の権限なども天皇にありました。**帝国議会・大臣・裁判所のいずれもが、天皇の統治を助けるものとされ、国民は天皇の「臣民」とされる一方、言論・出版・集会・結社・信教の自由は、法律の範囲内という厳しい制限がつきながらも認められました。**また、法律や予算は、帝国議会での承認が必要となりました。こうして憲法が制定されることで、国民が政治に参加する道が開かれ、人々の議論の結果を尊重するという精神が制度化されました。

憲法発布の翌90年、天皇と国への「忠君愛国」および親への「孝」

1841~1909

明治の国家建設の
立役者



長州藩(山口県)の出身で、幕末には倒幕運動で活躍しました。1882年ごろから政治のリーダーとなり、大日本帝国憲法をつくりました。内閣総理大臣の就任や内閣制度制定のほか、帝国大学の整備による官僚の育成など、明治国家の建設に大きな足跡を残しました。日清戦争(→p.209)では首相として日本を指導し、戦後は立憲政友会を結成して政治の安定に力を注ぎました。日露戦争後、初代韓国統監となりましたが、韓国の運動家に暗殺されました(→p.212)。

未来に向けて

日本での選挙の始まり

人権・多文化

選挙により国民の政治参加が始まりましたが、明治時代の選挙では投票する人を警察官が監視していました。しかし選挙に対する関心は高く、第1回衆議院議員総選挙の投票率は約94%でした。



明治時代の選挙の様子(ビゴー作)



明治時代の投票用紙(石川県立歴史博物館蔵)

資料活用 被選人(立候補者)の名前のほかに、何を書かなければならないだろうか。

を基本とする教育勅語が發布されました。これは、国民の徳徳や価値観の統一に大きな影響を与えることになりました。

帝国議会

帝国議会は、貴族院・衆議院の二院制がとられました。貴族院は、皇族・華族、それに天皇から任命

された議員などからなり、衆議院は、国民によって選挙された議員からなっていました。有権者は、直接国税(地租や所得税など直接国へ納める税金)15円以上を納める25歳以上の男性とされました。

そのため有権者は、裕福な地主や都市に住む人々に限られ、国民の約1.1%に過ぎませんでした。1890年に行われた第1回衆議院議員総選挙では、自由民権運動の流れをくむ政党である民党が多くの議席を獲得し、政府に対抗しました。このようにして、当時アジアで唯一であった憲法に基づいた政治(立憲政治)・議会政治が行われるようになり、近代国家としての一步を踏み出しました。

女性と政治

憲法によって男性の権利が認められるようになった一方、女性の権利は制限を受けました。自由民権運動には女性の参加者もあり、男女同権を主張していました。しかし、女性には選挙権が与えられませんでした。さらに1890年の法律で、女性は政治活動も禁止され、政治の世界から締め出されました。また、江戸時代から続く、男性を一家の中心とする考え方が民法などの法律に定められ、女性は「家制度」の下に置かれました。



岸田俊子(1863~1901) 京都出身の女性自由民権運動家で、全国各地で女性の権利拡大、男女平等を訴え、女性の教育や自立を追い求めました。

民法に見る「家制度」

- 第750条 家族力婚姻又ハ養子縁組ヲ為スニハ戸主ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス
- 第801条 夫ハ妻ノ財産ヲ管理ス
- 第804条 日常ノ家事ニ付イテハ妻ハ夫ノ代理人ト看做ス [1898年「明治民法」より、抜粋]



確認しよう

大日本帝国憲法における天皇・国民についての説明を、本文から書き出そう。



説明しよう

大日本帝国憲法の成立は、近代国家形成にとってどのような意味があったのか、説明しよう。

縄文
弥生
古墳
飛鳥
奈良
平安
鎌倉
南北朝
室町
戦国
安土・徳川
江戸
明治
大正
昭和
平成
令和

アクティビティ に挑戦 **A**

『三酔人経綸問答』を考察する



ワークシート

見方・考え方

三人の意見の背景となる、世界の動きに着目しよう。

学習課題

明治時代には、今後の日本の方針についてさまざまな議論がなされました。この時期の著作『三酔人経綸問答』の登場人物の意見にも、その内容が反映されています。著作の内容をもとに、この時期の日本がどのような立場をとるべきかについて、考えましょう。

テーマ 明治維新後、国家建設が進むなかで、日本は他国とどのようにつきあうべきだろうか。

『三酔人経綸問答』は、1887年(明治20年)に中江兆民(→p.201)によって書かれました。この物語では、三人の登場人物、紳士君、豪傑君、南海先生がそれぞれの意見をぶつけ、日本の行く末について議論しています。以下の会話では、「これから日本はどのように他国とつきあうべきか」についてが議題となっています。



紳士君

共和政(→p.162)は、最もよい制度なので、後に世界中の国がこの制度をとるに違いありません。ヨーロッパの国々もまだ十分な文明国ではないのです。
軍隊はすべてなくすべきです。敵国が攻めてきても、軍隊で相手を倒したとしたら、やっぱり悪いことです。
富国强兵(→p.188)を目指してもうまくいく望みが薄いので、この共和政を実現して、ヨーロッパの先をいき、強国も侵略することができない国にしましょう。



豪傑君

欧米諸国は、軍拡競争に熱心なので、ひとたび破裂すれば、アジアまで戦争に巻き込まれることになるだろう。
資源があるけれども弱い国があるのならば、さっさと出かけて行って、その一部でもわが国のものにするべきだ。そうすれば、われわれはヨーロッパ諸国のような大国になれる。
国内の政治や制度をよくするためには、これを妨げる古い考えの人を戦争に送ってしまう必要がある。

わがアジア諸国の兵隊は、侵略するには不十分だけれども、自分たちを守るには十分なのです。ヨーロッパの国々は力が釣り合っているので、国際法(→p.195)を守らなくてはやっていけない。その国際法によって、弱小国も守られています。
もし、侵略されそうなアジアの国があるのならば、互いに同盟して兄弟国になり、助け合って、それぞれの危機から逃れるべきです。



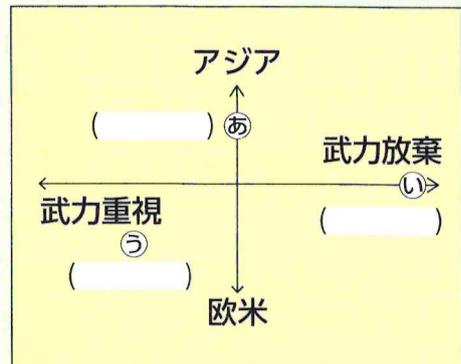
南海先生

TRY 整理しよう

- ①三人の主張を左の表にまとめてみよう。
- ②三人の意見は「アジアの立場寄りか欧米の立場寄りか」「武力放棄か武力重視か」という観点から見ると、㉞～㉟のどの立場にいるだろうか。①を参考に書き込んでみよう。

見方・考え方 巻頭8

	主張	その根拠
紳士君		
豪傑君		
南海先生		



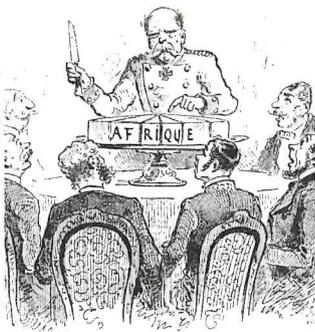
技能をみかく 12 当時の立場になって**せんたく**し、**はんだん**する

その後の歴史がどうなるか、当時の人々には分かりません。結果を知っている私たちが歴史を考える際には、現在の立場から考えず、当時の人々の立場を踏まえて**せんたく**し、**はんだん**することが大切です。

資料 当時の世界各地の様子



↑1 眠る清を狙う国々 アヘン戦争に敗北した清は、それ以後、欧米諸国の進出を受けようになりました。この絵では、ロシアとイギリスを中心に、各国が清を狙っています。



←2 アフリカの分割に関する欧米諸国の取り決め アフリカでは、ヨーロッパによる植民地化が進み、最初に占領した国がその国を統治できるとい取り決めも、欧米諸国の間で交わされました。これ以後、アフリカの分割は加速し、領有をめぐる争いも起こりました(→p.173C2、p.206)。

中江兆民が見たアジアのヨーロッパ人

私はかつてインド洋を航行して、ポートサイド(エジプト)やサイゴン(ベトナム)などの港に上がってぶらぶらしていた。するとイギリス、フランスの人々が、トルコ人やインド人を犬や豚のように無礼に扱う様子を見かけた。少しでもかなわないことがあれば、杖で打ち、あるいは足を上げて蹴るのだが、これを見ている人は、何も不思議に思わない。…そもそもヨーロッパ人はみづから文明と称しながら、こうしたことをするのは、どうということなのだろうか。 [『外交論』より、一部要約]

日本の動き	世界の動き
	1842 アヘン戦争に敗北した清が南京条約を結ぶ(→p.177)
	1857 インド大反乱が起こる(→p.174)
	1861 アメリカで南北戦争が始まる(→p.170)
岩倉使節団が視察に出発する(→p.194)	1871 ドイツ帝国が成立する(→p.171)
カンファド 江華島事件が起こる(→p.195)	1875
日朝修好条規が結ばれる(→p.195)	1876
	1877 イギリス、インドを植民地化する(→p.174)
1890年に国会を開議することが約束される(→p.201)	1881
ノルマントン号事件が起こる(→p.207)	1886
『三酔人経綸問答』が発刊される	1887 フランス領インドシナ連邦ができる

↑3 19世紀後半の主な出来事

考えよう ③三人の主張への批判を書いてみよう。また、その意見は当時の視点(過去の立場)に立ったものか、現在の視点に立ったものかも考えて書こう。

	批判
紳士君	
豪傑君	
南海先生	

表現しよう

④グループになり、当時の視点に立った場合、あなたは紳士君、豪傑君、南海先生のどの立場を支持するか、または、誰もいないほかの立場をとるか、グループの人に説明しよう。

その後、日本は、誰に近い立場を選択し、世界のなかでどうなっていくのか、学習を進めて見ていこう。